

「銀行論」試験の採点結果 (100点満点で採点)

1. 単位取得の条件と受講の心構え

シラバスにもあるとおり、通期でみて3分の2以上の授業に出席していない人は、単位認定の対象外です。また、試験に不真面目な回答をした人(試験会場で例示しました)についても、同様に単位認定の対象外としています。

受講生の皆さんにとっては、目先の単位取得が大事かもしれませんが、しかしながら、皆さんの就職活動や、社会人としての生活を展望すると、学生のうちに銀行論を正しく理解することが大切です。バブル崩壊後に金融制度が大きく変わり、銀行行動に関する知識が銀行等で働く人だけでなく、事務職や営業職の人にとっても、さらには家計にとっても、不可欠なものになっているためです。

教科書に指定した拙著「知っておきたい金融論」(晃洋書房、2006年7月)を読んでおく、皆さんの就職活動や社会人になってからの生活で、きっと役に立ちます。

2. 経営学部・商経学部(2~4年次)の試験結果:有効受験者 36名

うち90点以上	3名	よく頑張りましたね。最高は95点です。
80点~89点	4名	気を抜かずに、これからも銀行論を勉強しましょう。
70点~79点	8名	銀行の奥を理解するには、もうひと踏ん張りが必要です。
60点~69点	14名	可くらいで安心しては卒業後に苦労しますよ。今後も新聞や教科書などをよく読んで、銀行に関する知識を深めましょう。
50点~59点	5名	授業の中からきちんと学ぶことが大切です。今回の失敗から学ぶ賢明さを身につけましょう。
40点~49名	2名	このほか、出席不足の不受(有効受験者にはカウントしていません)が2名います。
平均点 67.7 点(合格率 80.6%) 最高 95点 最低 45点		

(全体の印象)

毎回出席を取っていますが、出席率が高い人は概して点数が高いようです。点数が悪かった人や出席率の低い人は、今後の受講科目では頑張ってお出席率を上げるようにしましょう。授業できちんと学ぶとともに、教科書をよく読む習慣も身につけましょう。

(採点関連の注意点)

「担保掛け目」の理解度が低いことが目に付きます。土地などを担保にしたとき、時価よりも低い金額(6~7割程度)しか貸さないことを意味しています。担保の相場が変動す

ることや、土地を売り急げば買い叩かれることなどを警戒したものです。こうした金融実務の手法は、きちんと理解しておいて下さい。

「税効果会計」の理解も概して低いようです。税務会計と企業会計の差を埋めるためにとられるものが税効果会計で、繰延税金資産（費用計上が認められずに払い過ぎた税金が将来の利益の範囲内で返ってくるもの）が典型的な事例です。

「システミック・リスク」の質問に対して、システム・リスクの回答をしている人が多かったのも特徴です。システミック・リスクとは、決済リスクが金融システム全体に波及するようなもので、ドミノ倒しに決済不能が広がることを指しています。コンピュータの誤作動等のシステム・リスクにより発生することもあります。そのほかにも色々なケースがあります。

「市場リスク」の設問に対して、流動性リスクを書いている人が散見されました。市場リスクとは、価格、金利、為替相場などが変動することに伴うリスクのことです。

3. 経済学部（2～3年次）の試験結果：受験者 7名

うち90点以上	2名	よく頑張りましたね。最高は95点です。
80点～89点	1名	気を抜かずに、これからも銀行論を勉強しましょう。
70点～79点	3名	銀行の奥を理解するには、もうひと踏ん張りが必要です。
60点～69点	0名	気を抜かずに
50点～59点	1名	授業の中からきちんと学ぶことが大切です。今回の失敗から学ぶ賢明さを身につけましょう。

平均点 81.4 点（合格率 85.7%） **最高 100点** **最低 55点**

（全体の印象）

受験者数が7人と少なく、他学部の教室に1限目から出ている人達だけに、概して良い点数が出ています（前期・後期を通じて出席率の低かった1人を除きます）。これからも気を抜かずに、勉強を続けて下さい。

以上

「銀行論」中間試験の採点結果(50点満点+ で採点)

1. 単位取得の条件と受講の心構え

シラバスにもあるとおり、通期でみて3分の2以上の授業に出席していない人は、単位認定の対象外です。また、試験に不真面目な回答をした人(試験会場で例示します)についても、同様に単位認定の対象外です。

受講生の皆さんにとっては、目先の単位取得が大事かもしれませんが、しかしながら、皆さんの就職活動や、社会人としての生活を展望すると、学生のうちに銀行論を正しく理解することが大切です。バブル崩壊後に金融制度が大きく変わり、銀行行動に関する知識が銀行等で働く人だけでなく、事務職や営業職の人にとっても、さらには家計にとっても、不可欠なものになっているためです。私の授業では、銀行業界での幅広い実務経験を活かして、類書には出ていない非常に重要な内容についても話していきます。

単位認定の対象外になった人でも、私語などで他人に迷惑をかけない限り、私の授業に出ることを拒否しません。確かな金融知識を身につけるよう、努力しましょう。

警告! : 特に4年生への進級がかかっている人は、この機に後半の勉強方針を真剣に考えて下さい。もちろん、勉強せずに不合格になるのも皆さんの自由です。

私の授業では出席点を一切つけません(足切りの基準とするだけです)ので、授業内容をしっかり理解するように努力しましょう。今回の成績が良くなかった人は、後半部分の授業でどのように対応すればよいかよく考え、しっかりとした行動に移す必要があります。

教科書の拙著「知っておきたい金融論」(晃洋書房、2006年7月)も、読んでおくと、皆さんの就職活動や社会人になってからの生活の際、きっと役に立ちます。

2. 経営学部・商経学部(2~4年次)の試験結果: 受験者 41名

うち50点以上	1名	このまま勉強すれば優の可能性大(よく努力しました)
40点~49点	6名	このまま勉強すれば優の可能性
35点~39点	11名	このまま勉強すれば良の可能性
30点~34点	11名	このまま勉強すれば可の可能性 <u>気を抜かずに</u>
25点~29点	8名	後期に頑張ればなんとか可となるかも
20点~24名	3名	後期にかなり頑張って勉強しないと不合格
19点以下	1名	後期に大いに頑張って勉強しないと不合格

平均点 33.2点 最高 50点 最低 16点

(全体の印象)

毎回出席を取っていますが、出席率が高い人は概して点数が高いようです。点数が悪かった人や出席率の低い人は、後期に頑張って出席率を上げましょう。後期の授業できちんと学ぶとともに、教科書をよく読むようにしましょう。

(採点関連の注意点)

不良債権に関する開示は、1998年から大幅に拡充され、今日では米国のSECの基準とさほど遜色のない水準になっています。この事実は、きちんと理解しておいて下さい。

為替相場の変動リスクについて銀行は、外貨建ての資産と負債の残高を等しくすることによって、リスクを回避することができます。円高になったときには、資産の損を負債の得で解消できますし、円安になったときには、資産の得を負債の損で解消できます。

「相対取引」は授業でも繰り返して話したとおり、「**あいたいとりひき**」と読みます。この用語は、金融の基本用語ですので、この機会に正しい読み方をしっかり覚えて下さい。

「貸倒引当金」は「**かしたおれひきあてきん**」と読みます。この用語は、財務諸表の基本用語ですので、この機会に正しい読み方をしっかり覚えて下さい。

警告! : 前半のままで単位を取れそうな人は**71%だけ**です。残り29%の人は、後半に心を入れ替えて大いに勉強しないと、単位を取れません。こうした人たちは、まず**後期の授業に真面目に出ないと、単位取得は難しいでしょう**(レジュメだけで高得点を得るには、かなり幅広い予備知識が必要です。教科書を読むことでも対応できますが、授業を聞いておいたほうが、読みやすいでしょう)。

3. 経済学部(2~3年次)の試験結果: 受験者 8名

うち50点以上	2名	このまま勉強すれば優の可能性大(残念ながら0)
40点~49点	3名	このまま勉強すれば優の可能性
35点~39点	2名	このまま勉強すれば良の可能性
30点~34点	1名	このまま勉強すれば可の可能性 <u>気を抜かずに</u>
25点~29点	0名	後期に頑張ればなんとか可となるかも
20点~24名	0名	後期にかなり頑張って勉強しないと不合格
19点以下	0名	後期に大いに頑張って勉強しないと不合格
平均点 43.5点	最高 57点	最低 34点

(全体の印象)

受験者数が8人と少なく(登録者の4割です)他学部の教室に1限目から出ている人達だけに、概して良い点数が出ています。後期にも気を抜かずに、勉強を続けて下さい。

以上